

100周年通信 第21号

R5 2.17

今回からは**100周年記念講演会**
についてお話ししていきます。



先ずは、熊本日日新聞にまつわるお話です。

今回の記念講演会のことが、

**2022年11月10日付け熊本日日新聞の
一面**に紹介されました。

本校が新聞の一面に取りあげられるのは、
2022年になってこれが**2度目**です。

1度目は、2022年1月11日に

「大津県勢初準V」というタイトルで本校のサッカー
部が熊本日日新聞の一面を飾りました

県内の一つの学校が、新聞のトップ(一面)に
年に2度も取りあげられるのは、
ひじょうに希だと思います。

2022年11月10日の熊本日日新聞一面の
「新生面」(コラム:短い評論)に次のように紹介されました。

**本の楽しみ方はさまざま。少し前の本紙に
大津高でのビブリオバトルが載っていた。お
薦めの本を紹介し合い、最も読みたい本を
投票で決める書評ゲーム。直木賞作家の辻
村深月さんを前に、辻村作品を熱く語った生
徒たちは一生の宝物を得た思いだろう。**

えっ？ビブリオバトル？

「記念講演会とビブリオバトル？どんなつながりがあるの？」と思われた方も多いことだと思います。

本校の大塚先生・白石先生・古閑先生を中心に
従来の型にとらわれない講演会が実現したのです。

事の発端は、大嶋校長先生と司書教諭の古閑先生との会話にありました。

一昨年の春のことです。。

本校に赴任なさったばかりの大嶋校長先生が、

「大津高校はビブリオバトルに熱心に取り組んでいるので、来年の100周年には著名な作家さんを招いて、生徒と対話形式で話してもらおうといったことができないでしょうか。」

と尋ねられました。

古閑先生は、

「出来なくはないと思います」

そもそも講演会と言えば・・・

著名人をお招きして、テーマに沿って話をさせていただくのが定番だと思います。

この度の記念講演会では、
著名作家の**辻村深月さん**をお招きはしましたが、
最初に辻村さんの作品を3人(卒業生1名、在校生2
名)に紹介してもらいました。もちろん作品は同一では
ありません。

このあとにディスカッションをして、最後に一番読みたくなった本
を投票で決めれば、**ビブリオバトル**になります。

今回の講演では、3人の作品紹介に対して辻村さんに講評をお願いしました。

その後、辻村さんにテーマに沿ったお話をしていただきました。それも一方的ではなく、新たなメンバーを加えたディスカッション形式で話をしていただきました。

辻村深月さんの作品を紹介した3人です。

